

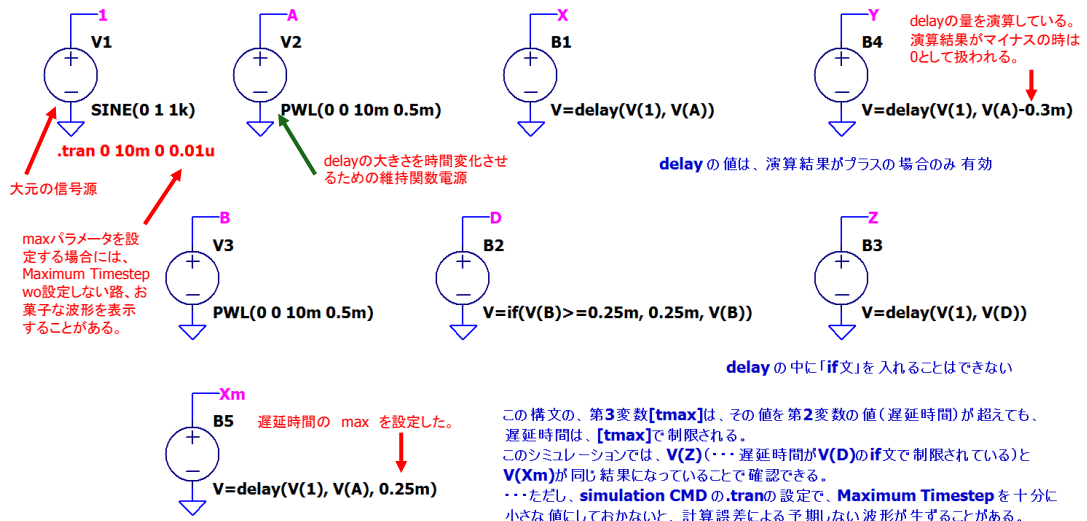
# BV-Source で delay を使う

Arbitrary Behavioral Voltage Source (ビヘイビア電源) でdelay(遅延時間)を利用し、あるノード電圧の信号から、何らかの遅延時間のある信号を作り出す方法を紹介する。

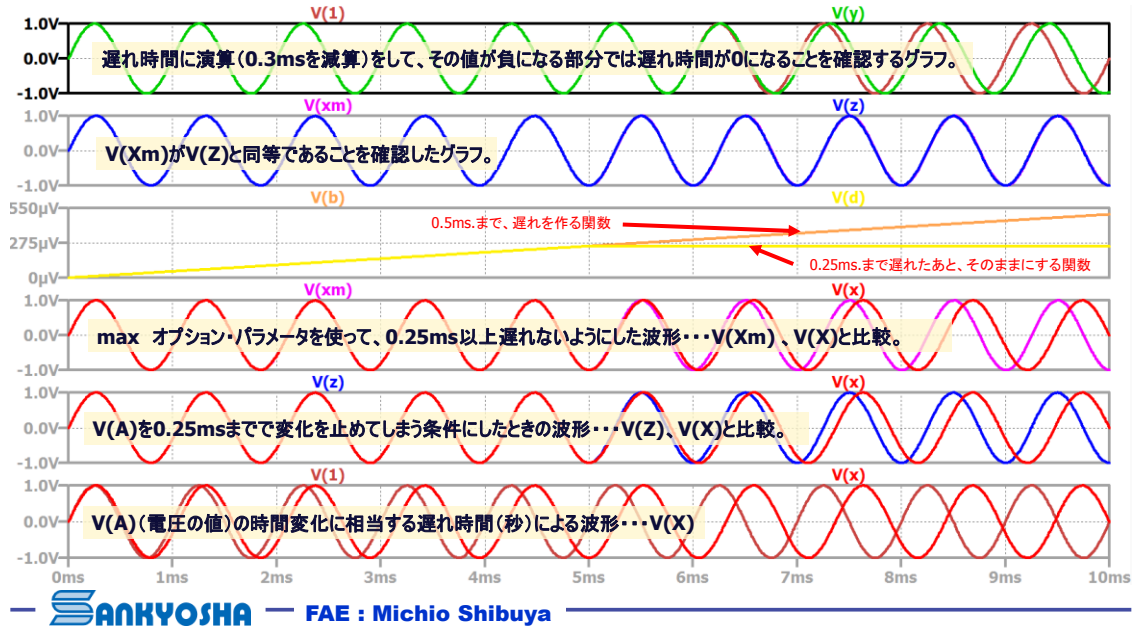
例題ではBV の例を示すが、BIにも同様に適用できる

## absdelay (delay) の例題

absdelay(x,t[,tmax]) ... x delayed by t. Optional max delay notification tmax.



## 例題のシミュレーション結果



## 無損失伝送線路で遅れを作る場合との比較

水滴が水面に落ちるとき音(ぼちゃん)を一つの音源として、その波形を0.2秒遅らせた波形を作り、元の波形と合成してWAVEファイルとして出力する。

左側は無損失伝送線路を使った場合、右側はBVのdelay関数を使った場合である。  
**無損失伝送線路の場合には、線路の両端のインピーダンスマッチングを考慮しなければならない。**

